

LACIE 2BIG THUNDERBOLT 2: 高度なストレージテクノロジー

THUNDERBOLT 2 テクノロジー

LaCie 2big Thunderbolt 2 に使用されている Thunderbolt 2 テクノロジーは、コンピュータの最も高速で柔軟な接続方法です。第一世代の Thunderbolt テクノロジーでは最大 10Gb/s の双方向転送が使用でき、Thunderbolt 2 テクノロジーでは最大 20Gb/s の双方向転送が可能になります。さらに Thunderbolt 2 テクノロジーでは、ビデオストリームが優先的に処理され、再生に必要な帯域幅が割り当てられます。これは、ハイエンドのビデオや 3D グラフィックを使用するときに決定的な利点となります。

たとえば、エディタで 2 つのストリームを使用しており、片方が 4K ビデオで 12Gb/s、もう片方がデータで 4 Gb/s の場合を考えてみます。第一世代の Thunderbolt テクノロジーではビデオ信号の処理に困難が生じますが、Thunderbolt 2 テクノロジーでは問題なく処理でき、再生に必要な帯域幅が割り当てられます。

ケーブルについての重要な情報: Thunderbolt の筐体をコンピュータまたは対応機器に接続するときは、Thunderbolt テクノロジーをサポートするために専用に構築されたケーブルを使用してください。

重要な情報: Thunderbolt の筐体は、Thunderbolt テクノロジー対応のコンピュータに接続する必要があります。デバイス背面のポートには Mini DisplayPort ケーブル エンドを簡単に接続し、ディスプレイをデイジー チェーン接続できますが、Thunderbolt ストレージは、Thunderbolt テクノロジーをサポートするコンピュータに接続した場合のみ動作します。

LaCie 2big Thunderbolt 2 テクノロジー: ハードウェア RAID によるデータ保護とパフォーマンス

LaCie 2big は、ハードウェア RAID を搭載している、数少ないハイエンドの直接接続ストレージ (DAS) です。ほとんどの DAS では、高い転送速度とデータ保護のどちらか一方だけを選択する必要があるのに対して、LaCie 2big では非常に高いパフォーマンスとデータ保護の組み込みの両方が実現されています。RAID により、コンピュータは貴重な処理リソースをストレージ管理に消費する必要がありません。これは、ビデオやグラフィックなど、コンピュータの CPU に大きな負荷が要求されるアプリケーションでは決定的な優位点となります。さらに、ハードウェア RAID では、作業環境での要求に応じてハードドライブを構成できます ([RAID の管理](#)を参照)。

LaCie 2big には、次のような特長があります。

- デスクトップで使用するのに便利
- 筐体の前面にアルミニウムを使用し、筐体すべてが金属製
- ハードウェア RAID
- FAST (RAID 0)、SAFE (RAID 1)、JBOD の RAID に対応
- Thunderbolt 2 テクノロジーのポート 2 つを搭載し、ポートごとに最大 20Gb/s の双方向転送が可能
- USB 3.0 ポートにより、最大 5Gb/s の汎用接続が可能
- Thunderbolt 2 および第一世代 Thunderbolt デバイスのデイジーチェーン接続 (コンピュータを含めて 7 台までのデバイスを接続可能)
- ハードドライブがホットスワップ可能なためシステム停止時間が短縮